



お

お食い初め

祝いの膳のお鯛さん



生後百日前後で行う「百日祝い（ももかのいわい）」は、無事に生後百日を迎えられましたという祝いの日です。今は「お食い初め」の日としても定着していますが、これを「歯固め」と呼ぶ場合もあります。この日には、祝い膳を並べ、赤ちゃんに食べさせる真似をして祝います。

塗りの膳におめでたいとされる鯛や赤飯、神社で頂いた石などを並べます。石には丈夫な歯になりますようにと願いが込められています。赤ちゃんはまだ何も食べられませんから、食べるマネをして、いずれも口に触れる程度で行います。これからの一生、食べ物に困らないようにとの、親の願いが込められているので

しょう。日本のどこでも行われているようです。

かつては、命があることへの感謝として、生後一年までは儀式が多かったようです。現代は、少し意味合いが変わり、いつの間にか、ハーフバースデーなる日まで出現し、イベント化して、華やかさも増しているようです。そんな行事で、ママも赤ちゃんも疲れないように、まずは無理をしないようにしてくださいね。とはいえ、赤ちゃんの健やかな育ちをみんなで喜びあえることは幸せですね。